

広報つつじ

平成30年9月29日
つつじが丘自治連合会
会長 小引 福夫

10月号

防災は、日頃の備えから

あなたの避難場所は？

8月末の台風20号に続き、東海・関西を襲った台風21号は、人間の予測をはるかに上回る自然のすごさを見せつけました。車が紙屑のように舞い上がり、樹木が倒れ、鉄柱もひん曲がっていました。これらを映像で見て、人は本当に小さな弱い生き物だと改めて気づかされました。

さて、今回の台風21号が接近してきた際に「つつじが丘市民センター」に、7時～18時の間、避難所が開設されました。ご存知でしたか？あくまで自主避難ということでした。つつじが丘は7名の方が避難をされました。アルファ米も試食されたと聞いています。私も市販(320円)されている「わかめごはん」を買ってきて「水を入れて1時間」に挑戦しました。結果は、水を線まで入れたにも関わらず、水の量が少なかったのかパサパサになってしまいました。また、水だどご飯が冷たいので、やはり「お湯を入れて15分」が良いと思いました。



「わかめごはん」だったそうですが、簡単に作れて、おいしかったと好評のようでした。名張市にはアルファ米6,000食分が備蓄されています。

ここで避難のこと再確認しませんか？

避難所

自然災害等により住居等を失うなど、継続して救助を必要とする市民に対し、宿泊、食料等の生活機能を提供できる学校などをいいます。つつじが丘は、市民センターに災害対策活動拠点として自治会防災会災害対策本部が設置され、北5・6・7・8・9番町は市民センター。北1・2・3・4番町・南7・8番町はつつじが丘小学校。北10番町・南1・2・3・4・5・6番町は南中学校に避難をして、それぞれの避難所で「避難所運営委員会本部」を設置することになります。その後は、それぞれの避難所において「総務班」「生活班」「給食・給水班」「物資分配班」「救出・救護班」「清掃班」「避難者名簿管理班」等の役割分担に則って進めていくこととなります(防災マニュアル2010参照)。気の遠くなるような作業が待ち構えているわけです。お互いが信じ合って、協力しながら乗り切っていくことが大切になるのかなと考えています。

避難が必要な時などは、どのように周知するのか

名張市では、「名張市地域防災計画」に基づき、名張市域をサービスエリアとするFMなばり(83.5メガヘルツ)と、「災害時の緊急放送に関する協定書」を締結しており、FMなばりを通じて、市民の皆さんへ避難勧告、避難指示、緊急情報等を周知することになっています。また、広報車や名張市のホームページなどでの呼びかけ、名張市地域防災無線を利用した各地域の自主防災隊による避難の呼びかけなども実施します。



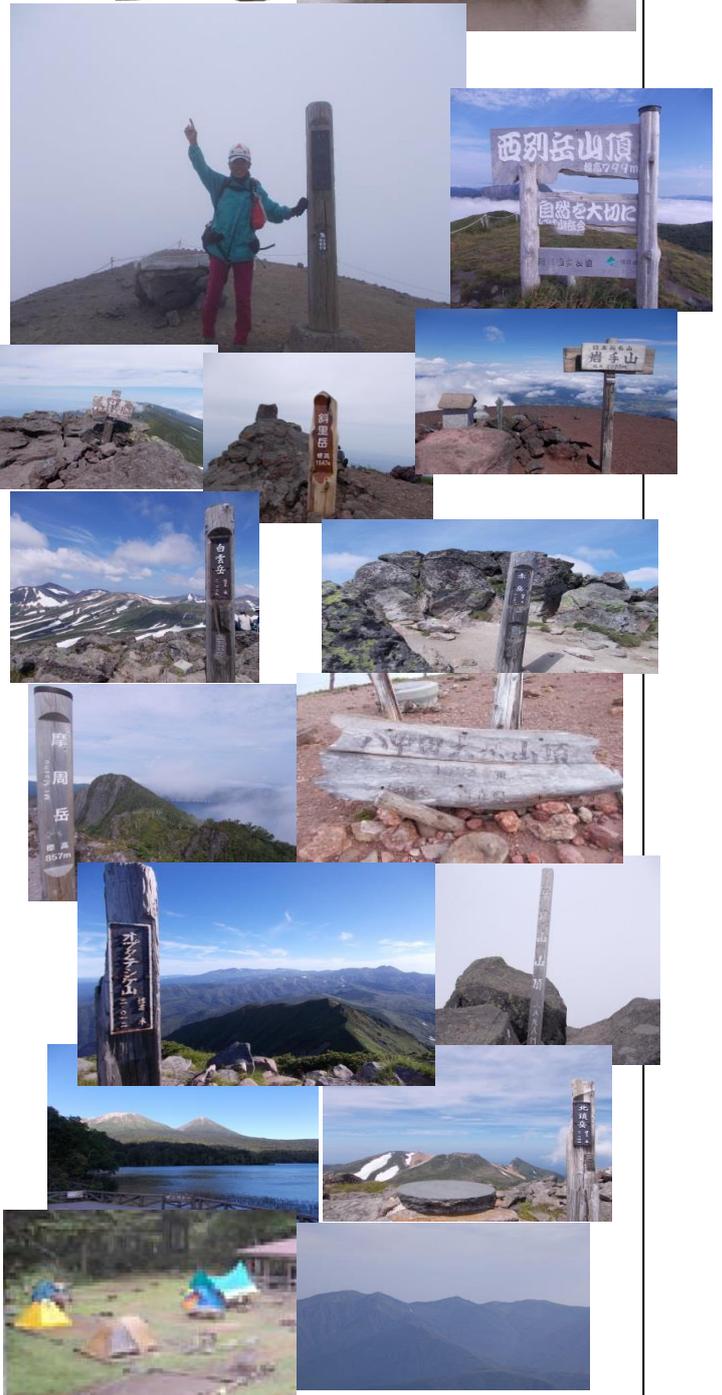
団塊世代の紹介No5



愛車(三菱自動車EKワゴン)で北海道50山制覇

つつじが丘団塊世代の岡本さんは、この度、7月10日～9月5日までの約2ヶ月間に北海道の2000m級の山を次々と制覇。東北の岩木山や八甲田山も入れて、何と50以上の山の登頂に成功した。日頃から、岡本さんが運動グラウンドで走っている姿を見る方も多いと思うが、68歳で標高2000m前後の山々を踏破するとは考えられない。まさしく超人だ。

7月10日の早朝5時過ぎに愛車(三菱EKワゴン)で自宅を出発。12日に青森県大間に着き、フェリーで津軽海峡を渡り、函館に着いたのが13日の朝8時半。そこからすぐに標高1897mの羊蹄山を目指した。北海道50名山登頂チャレンジの始まりだ。羊蹄山は名前は優しいが、コニーデ型(富士山の山型)のため上部に行くほど勾配がきつくなるという。1年振りの登山ということもあって登頂は少し厳しかったようだ。しかし、羊蹄山をクリアしてからは、シカやキタキツネに出会いながら北海道北部に位置する利尻山や、東部根室に位置する羅臼岳、斜里岳、中央部に位置する阿寒岳、「北海道の屋根」大雪山系の旭岳、赤岳、白雲岳、トムラウシ山、美瑛岳、十勝岳、富良野岳。その他、幌尻岳、天塩岳、アポイ岳、夕張岳等50以上の山々を次々と征服。登頂に成功し頂きに立った。そして、途中の8月26日には、なんと札幌での北海道フルマラソンに挑戦。見事4時間33分44秒で完走した。超人たる所以である。北海道の最後に駒ヶ岳を目指したが、火山活動で入山規制中のため馬の背までしか登山できなかったとのこと。しかし、誰でも出来ることではない。すばらしいの一言だ。道中での睡眠は、車中や山小屋で、食事はアルファ米や手作りの味噌汁。お風呂は、川の水で体を拭いたり、山の中にある自然の温泉に入ったりしたそうだ。また、帰路の途中で八甲田山、岩木山等も登頂したというから半端じゃない。いくら書いても書ききれない。写真を見ていただこう。(広報:米田)

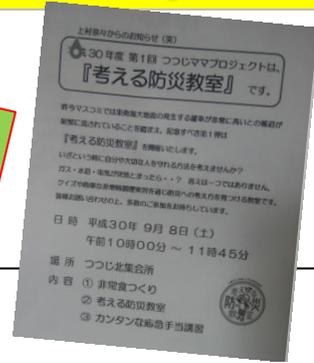


つつじの

スーパーボランティア

非常時の 食事

考える防災 応急手当



自分たちの子供さんが幼稚園の時にママ友になった女性グループがある。

代表は、北7番町に住む上村さん。子供が小学校になってからもママ友は続き、今でも定期的に食事会をしているそう。そんな時に話題になるのが「地震」や「台風」といった「災害」の事。災害や事故が発生した時に住宅に残っている人に何が出来るのか？を突き詰めていった時に「考えて動く」「応急手当」「非常食」等が思い浮かんだ。考えがようやく煮詰まってきて、まずは行動に移そうという事になったという。メンバーに名張市消防団、本団女性部 団員の方もいらっしゃったことから「防災教室」や「応急手当講習」はお手の物。「非常食」についても最初はレシピを参考にして、回を重ねる毎に、それらをアレンジ工夫が出来たらと話す。「案内チラシ」は自分達で作って配った。



ポリ袋でご飯やポテトサラダ・カップケーキを作る

平成30年度第1回つつじママプロジェクト『考える防災教室』

と名付けられたこの企画。

- いざという時に自分や大切な人を守る方法を考えませんか？
- ガス・水道・電気が突然とまったら・・・？ 答えは一つではありません。
- クイズや簡単な非常時調理実習を通じ防災への考え方を見つける教室。

をコンセプトに、今後も続けていきたい。また、しっかりと皆さんの理解を得て、共に災害時のリスク回避や日頃からの日常生活を守っていきたくと話をしていただいた。今後の活躍をお祈りするとともに、たくさんの方の参加や応援をお願いしたいと感じた。(米田)



三角巾を使った応急手当を指導する水野さん



「考える防災」の大切さを指導する鈴木さん

直下型地震と海溝型地震の違いは何ですか？

地震には、地球の表面をおおっているプレート(厚さ数10キロメートルの岩盤)の境界を震源とする**海溝型地震**と、プレート内の活断層の活動により発生する**直下型地震**の2つのタイプがあります。「南海トラフ地震」は、静岡から紀伊半島沖・四国沖に続く南海トラフと呼ばれるプレートの境界で発生する**海溝型地震**です。南海トラフ地震は、今後30年の間に60%から70%の高い確率で発生すると予測されており、東海地震、東南海地震、南海地震の3つの地震が連動した場合、甚大な人的・物的被害が発生し、国民生活・経済活動にきわめて深刻な影響が生じる巨大災害になると想定されています。一方、阪神・淡路大震災(兵庫県南部地震)、新潟県中越地震、熊本地震は、活断層の活動による**直下型地震**です。

災害が起こったときは、どこへ避難すればいいのか？

一時避難場所

各区などで自主的に定められているもので、一時的に避難できる広場、公園、空地などのことをいいます。

避難所

自然災害等により住居等を失うなど、継続して救助を必要とする市民に対し、宿泊、食料等の生活機能を提供できる学校などをいいます。名張市では、小学校や市民センターなど50箇所を指定しています。

避難地

地震で大火になったときなど、大規模な避難に適する広大な公園、学校のグラウンドなどのことをいいます。名張市では、小学校のグラウンドなど32箇所を指定しています。

福祉避難所

災害発生時等において、災害時要援護者等が避難所生活の負担を軽減できるような福祉施設などをいいます。名張市では、市内の各社会福祉法人の福祉施設など13箇所を指定しています。

避難が必要な時などは、どのように周知するのですか？

名張市では、「名張市地域防災計画」に基づき、名張市域をサービスエリアとするFMなばり(83.5メガヘルツ)と、「災害時の緊急放送に関する協定書」を締結しており、FMなばりを通じて、市民の皆さんへ避難勧告、避難指示、緊急情報等を周知することとしています。また、広報車や名張市のホームページなどでの呼びかけ、名張市地域防災無線を利用した各地域の自主防災隊による避難の呼びかけなども実施します。

「避難勧告」と「避難指示」は、どう違うのですか？

市町村長には、住民の生命や身体を災害から保護するために、必要と認める地域の住民等に対して、避難勧告または避難指示を行う権限が与えられています。(災害対策基本法第60条)

「避難勧告」とは

住民に危険が及ぶ可能性があるため、安全な場所への避難を勧め、促すもので、強制するものではありませんが、その地域の住民が自ら避難することを期待しています。

「避難指示」とは

被害の危険が目前に迫っている場合などに発せられるもので、「勧告」よりも危険度や緊急度は高いものとなります。

災害時にはFMなばりや広報車、名張市のホームページなどでの呼びかけ、名張市地域防災無線を利用した各地域の自主防災隊による避難の呼びかけなども実施しますので、FMなばりや屋外での広報車、自主防災隊の呼びかけを聞くようにしてください。

名張市が災害に備えて備蓄している物資はどのようなものがあるのか？

食糧

アルファ米を6000食、10年保存飲料水を500ℓ、粉ミルクを16缶、スティックタイプミルク600本

生活関連物資

毛布1700枚、防水シート200枚、簡易間仕切り50セット、クイックパーテーション5基、簡易トイレ(テント付き)50セット

各避難所

発電機1台、ハロゲン投光器1台、携帯式非常用照明2台、燃料携行缶1個、コードリール1台、毛布(各避難所20～80枚)

なお、避難生活が長期化する場合には、災害時に物資の供給協力について協定を結んでいる他市などからの調達により、必要な物資を確保することとしています。みなさんの家庭でも地震に備えて、最低3日分の缶詰やレトルト食品など食料や飲料水(一人あたり1日3リットル)、そして、カセットコンロや固形燃料、常備薬品、消火器などの準備をお願いします。(※名張市ホームページ参照)

つつしが丘のみなさま こんにちは！
つつしが丘地区「まちの保健室」です。 ☎68・7800

厳しい残暑が続いておりますが、風に秋を感じるようにもなりました。皆様お元気にお過ごしでしょうか？

9月と言えば...防災月間です。災害は忘れた頃にやってきます！
この時期に家族で対策を話しあってみるのはいかがですか？

～家族防災会議をしましょう！～

★家族構成にあわせて役割分担を決める★

火の始末をする人、お年寄りや子どもを誘導する人など、役割を決めておく。

★非常持ち出し品の置き場所の確認する★

持ち出し品や備蓄品、消火器の置き場所を家族で確認する。中身の期限や電池切れの確認をする。

★家族との連絡方法を決める★

災害伝言板、SNS等手段を活用し、家族にあった方法を選ぶ。

★家の危険箇所をチェックする★

家の中で一番どこが安全か？倒れそうな家具はないか？出入口の確保はどうか？地震・火災など災害に応じた避難場所・危険場所を確認する。

★避難マップを作ってみる★

ハザードマップの確認、通学路などの危険区域をチェック、自宅から避難場所までの道順を2つ以上の経路を調べる事もおすすめです。

備えあれば憂いなし。この時期に見直すきっかけに致しましょう!!

最終処分場(下比奈地)発生ガス及び敷地境界臭気指数検査結果

最終処理場ガス抜き管から発生するガスの現状を把握するため、平成30年8月29日(水)検査に立ち会った。検査結果は、次表のとおり。(環境部)

項目	単位	発生(ガス抜き管)	敷地境界	基準地
メタン	%	0.01未満
アンモニア	ppm	0.1未満	1
硫化水素	ppm	0.002未満	0.02
硫化メチル	ppm	0.001未満	0.01
二硫化メチル	ppm	0.0009未満	0.009
トリメチルアミン	ppm	0.0005未満	0.005
臭気指数	10未満	15(1種区域)

幼稚園だより

5日(金) 半日保育
6日(土) 運動会(雨天順延)
9日(火) 代休
13日(土) 新入園児面接
15日(月) 誕生会
25日(木) さくらんぼ組遠足
27日(土)
市民センターまつり
(年中組出演)
30日(火) 年少遠足遠足
※ さつまいも掘りも行います

おじゃまる広場

◎おじゃまる広場

2日(火) だっこ教室
16日(火)
10:00~11:30
市民センター多目的ホール

◎ベビースマイル

4日(木) 13:05~13:40
18日(木) 南中

◎きになるサロン

12日(金) 北集会所
26日(金) 南集会所
いずれも10:00~12:00

健康福祉部

◎サロンカレー亭のご案内。

日時 10月18日(木)11~13時
場所 つつじが丘北集会所
参加費 100円
(スプーン、お皿は持参)

◎ずもと元気！健康教室

日時 10月11日(木)
10月25日(木)
いずれも南集会所です。

小学校だより

1日(月) ぶどう園見学(3年)
3日(水) 校内研修会
5日(金) ~6日(土)
修学旅行
9日(火) 6年生振替休業
折り紙教室
10日(水) グループ研究部会
12日(金) 塩谷氏講演会
紙芝居
16日(火) 校内委員会
つばさ学園交流(3年)
17日(水) 校内研修会
19日(金) 3年
比奈知文化センター見学
20日(土) 土曜授業
24日(水) 職員会議
25日(木) 小中音楽会

南中だより

3日(水) ~ 5日(金)
修学旅行
4日(木) 校外学習(1・3年)
10日(水) グループ研究部会
12日(金) 部活動なし
13日(土)~14日(日)
三人教(伊賀)
15日(月)~16日(火)
中間テスト
17日(水) 校内研修会
18日(木) 乗り入れ6年⑤
20日(土) 土曜授業
20日(土)~21日(日)
県陸上
24日(水) 職員会議

子ども育成部

通学路の危険箇所点検結果

次の項目を、通学路改善要望として市に提出した。

- ・ 北2番町郵便局から北8番町に下りて行くカーブ
- ・ 南3番町11番地の三叉路
- ・ 北4番町幹線道路にある「駐停車禁止」標識と生垣の間が狭く、傘をさしては通れない。
- ・ 春日丘地区の「春夏秋冬」前交差点、下り坂でカーブ、樹木があり見通しが悪い。
- ・ 地区内の横断歩道のペイントが消えかかっている。停止線、中央線も同様。

※ 交番前の歩行者信号設置は確定。南1番町の横断歩道の設置については、三重県の認可待ち。

財務管理部

平成30年度下期会費納入について
評議委員会で通知書を配布予定。
納入期限は、
平成30年11月15日(火)まで。

生活安全部

名張市防災訓練地域企画検討会
○10月27日(土)に開催。
11月の防災訓練をどのように
行うかを「危機管理室」「消防団」
も参加して行う。

生活安全部

秋の防災講演会実施～三重県防災対策室 防災企画地域支援課 西川実雄氏

平成30年11月10日(土) 13時～ つつじが丘市民センター

○ワークショップ形式によるDIG(災害想像ゲーム)、

地図を見ながら地形を精査し災害を想定し、チームで避難対策を立てる等をゲーム形式で行う。

○小学生チーム、中学生チーム、市民センターチームに分かれてチームで検討する。